

## 第4期奈良県がん対策推進計画策定に寄せて

日本では、2人に1人ががんにかかり、4人に1人ががんで亡くなっています。がんは死因の第1位であり、本県でも年間4千人以上の方が亡くなっています。

がんは、かつて不治の病と言われていましたが、検診体制の充実や医療の進歩により、生存率が向上し、早期発見、早期治療により治る病気となりました。しかしながら、がん検診受診率は低い状況にあります。

また、がん患者の4人に1人は20歳から64歳の働き世代の方々であり、治療と学業や仕事を両立し、がんとともに生きる時代になっています。がんになっても治療をしながら、安心して自分らしく生きられる社会であることが求められています。

これらの現状を踏まえ、がん対策を総合的かつ計画的に推進するため、「第4期奈良県がん対策推進計画」を策定いたしました。

計画策定にあたり、有識者や医療関係者、関係団体や市町村の代表、がん患者等から構成されるがん対策推進協議会やその部会の委員の方々にご審議いただき、がん予防・早期発見、がん医療、がん患者支援、がん教育などの各分野で進めるべき取組をまとめることができました。

「がんにならない、がんになっても安心できる奈良県」を基本理念とし、健康づくりの推進と併せて、必要な医療を適切に提供できる体制を強化し、がん対策を推進してまいります。

県民の皆様におかれましても、本計画の趣旨をご理解いただき、生活習慣の改善やがん検診受診など予防や早期発見に努めていただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴重なご意見をいただきました各方面の関係者や県民の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和6年3月

奈良県知事 山下 真